

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第7部門第3区分  
 【発行日】平成23年12月15日(2011.12.15)

【公開番号】特開2010-109592(P2010-109592A)  
 【公開日】平成22年5月13日(2010.5.13)  
 【年通号数】公開・登録公報2010-019  
 【出願番号】特願2008-278607(P2008-278607)  
 【国際特許分類】

H 0 4 N 5/91 (2006.01)

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 5/91 Z

G 0 6 T 1/00 3 4 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成23年10月31日(2011.10.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項5】

時系列に並んだ複数のフレーム画像を含む動画像データから1以上の代表フレーム画像を抽出する情報処理装置の制御方法であって、

入力手段が、動画像データを入力する入力工程と、

検出手段が、入力された動画像データから所定の画像パターンに類似する画像を含むフレーム画像を検出する検出工程と、

追跡手段が、前記検出工程により検出されたフレーム画像に含まれる画像と類似する画像を含むフレーム画像を、前記検出されたフレーム画像の前後にあるフレーム画像を対象として検出する追跡工程と、

記憶手段が、前記追跡工程により検出された連続したフレーム画像を画像シーケンスとして、当該画像シーケンスに対応する前記動画像データ内における時間情報と関連付けて記憶部に記憶する記憶工程と、

分割手段が、前記動画像データ内の各時刻において前記記憶部に記憶された1以上の画像シーケンスを含むか否かに基づいて、前記動画像データを複数の時間区間に分割する分割工程と、

抽出手段が、前記複数の時間区間の各々について、前記動画像データ内の各時刻において前記記憶部に記憶された1以上の画像シーケンスを含むか否かに基づいて異なる評価ルールで代表フレーム画像を抽出する抽出工程と、

を備えることを特徴とする情報処理装置の制御方法。